



ジャディアンス[®]を 服用される患者さんへ

本剤は、尿中に糖を排泄して血糖を下げる薬です。

1日1回服用してください。

- 毎日、朝食前または朝食後に、
水またはぬるま湯で服用してください。

飲み忘れた場合には2回分(2日分)を
一度に飲まないでください。

- 決められた時間に飲み忘れたら、忘れた分は飲まずに、
翌日の朝に1回分を飲んでください。
- 誤って多く服用したときは、低血糖に注意し、
医師または薬剤師に相談してください。

医師の指示なしに、
服用を中止しないでください。*

*インスリン注射をされている方はご自身の判断で注射をやめたり
回数を減らしたりしないでください。

ジャディアンス®の服用中*は下記の症状に注意し、

低血糖の症状

空腹感

動悸

ふらつき

頭痛

脱力感

めまい

冷や汗

症状が現れたら、まずは糖分*

(ブドウ糖や砂糖)を取ることが重要です。

* α -グルコシダーゼ阻害薬を服用している場合は、

砂糖ではなくブドウ糖を取るようにしてください。

症状の回復が見られない場合にはすぐに医師に相談してください。薬の飲み合わせで低血糖が起りやすくなることがあります。

他の薬を飲まれている場合は、医師・薬剤師に伝えてください。



脱水の症状

のどが渴く

体のだるさ

めまい

尿量の減少

薬の作用によりトイレの回数や尿の量が増えることがあります、脱水症状を起こすおそれがあります。

脱水を予防するために、服用中は、こまめな水分補給を心掛け、ご自身の判断で水分補給を中止しないでください。

気温が高い時期や下痢や嘔吐があるとき、血糖コントロールが極めて不良の方、高齢の方、利尿剤を飲まれている方、腎機能が低下している方は特に注意が必要です。



症状が現れた場合は、医師にご相談ください。

ケトアシドーシスの症状

悪心・嘔吐

食欲減退

腹 痛

異常にのどが渴く

体のだるさ

呼吸困難

意識障害

このような症状がでた場合、ただちに医療機関を受診してください。
以下にあてはまる方は、注意が必要です。

- ・医師からインスリン分泌能が低下しているといわれている方
- ・高齢の方
- ・利尿剤を飲まれている方
- ・腎機能が低下している方
- ・最近インスリン製剤の減量や中止を行った方
- ・食事の量が減っている方
- ・感染症がある方
- ・脱水を起こしやすい方

米、パン、めん類などの過度な糖質制限は避けるようにしましょう。



*本剤服用中は一部の臨床検査の項目(尿糖、血清1,5-AG)に影響が
することがあります。本剤を服用していることを医師に伝えてください。

尿路感染の症状

トイレが近い

排尿時の痛み

残尿感

尿路感染から重大な感染症
(腎盂腎炎、敗血症等)に至る
ことがありますので、以下のことに
日ごろから気をつけましょう。

- ・トイレを我慢しないように
- ・陰部を清潔に
- ・十分な水分補給

異常に気づいたときは、
すぐに医師にご相談ください。

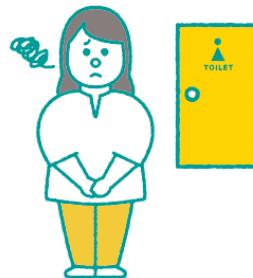
性器感染の症状

陰部のかゆみ

女性の
場合

おりもののかややにおいの変化

予防のために陰部を清潔に
保ちましょう。



皮膚の症状

皮膚の赤み

かゆみ

ニキビのような発疹

皮膚の症状に気づいたときは、
すぐに医師にご相談ください。

